学校番号	１２０７

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	ペン字のこころ　（日本書写教育研究会）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

■小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。

■「漢字の書」「かなの書」「漢字仮名交じりの書」「工芸の書（篆刻）」の４つの分野を年間通して学習します。

■４つの分野を通して、筆の弾力を感じ筆遣いに慣れ、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。

■身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２ 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	筆を持つことの楽しさを知り、書の伝統と文化に関心をもっている。主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を習得する。基礎的な技能を生かし書において効果的な技能を身につけ表現している。	友人の作品や日常生活の中で触れる書を鑑賞し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わうことができる。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写から書道へ（書体の変遷） 硬筆（ペン字テキスト）	・国語科書写と芸術科書道の違いを理解する ・正式書体・略式書体「天」の字を使った書体の変遷を知る ・用具用材について学ぶ ・文字に興味を持つ	○			○	a：書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。用具・用材に興味をもっている。 d：書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わうことができる。	観察 レポート ワークシート
5 6	漢字の書（五書体の学習・唐の四大家）	・五書体の学習 ・唐の四大家の学習 ・半切1/2作品の製作 ・相互鑑賞会	○	○		○	a：五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：各書体の基本的な用筆方法（逆筆・順筆）を身につけている。 d：文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わうことができる。	観察 ワークシート 提出作品
7 8	漢字の書 硬筆（ペン字テキスト）	・楷書と行書		○		○	a：国語科書写の基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b：国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c：国語科書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現している。 d：日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わうことができる。	観察 提出作品

9 10	工芸の書 篆刻	・自分の名前調べ （各書体） ・2～4字の朱文または白文の印の制作	○		○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c:印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身につけ表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わうことができる。	観察 ワークシート 提出作品
11	漢字の書 行書	・行書の学習 ・「蘭亭序」を学ぶ ・半切1/2	○	○		○	a:行書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:行書の基本的な用筆法を理解し、表現することができる。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わうことができる。	観察 ワークシート 提出作品
12	硬筆 （ペン字テキスト）	・ペン字 ひらがな・カタカナ・漢字かな交じり		○		○	b:国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫することができる。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わうことができる。	観察 提出作品
1	かなの書	・淡墨によるひらがな単体、連綿 ・作品鑑賞 ・コメント記入	○	○		○	a:仮名の美（単体、連綿など）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。また、墨色について関心をもっている。 b: 一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 d:作品を展示し、友人の作品のよさを発見することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
2 3	作品発表 色紙作品を作ろう	・色紙作品制作 語句 の選定 文字調べ・草稿作成 半紙による作品制作 後色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを記入	○	○	○		a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけ表している。 c: 作品の意図を明確にし、それにあった書体で表している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

3	硬筆 （ペン字 テキスト）	・日常書 ・はがき・手紙の書き方など		○		○	b：はがき・手紙の基本的な書き方を理解し、表現することができる。 d：暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わうことができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
　　c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。